

留萌管内

# とままえちょう 苫前町くま獅子舞

昭和 57 年（1982 年）3 月 1 日 町指定無形民俗文化財

民俗芸能団体：苫前町くま獅子保存会（苫前町）

## 解説



大正 4 年（1915 年）12 月、苫前町三溪地区<sup>さんけい</sup>で冬眠を逸した一頭のヒグマが空腹から凶暴性を発揮し 10 人の婦女子を殺傷した、熊による獣害としては史上最大の惨劇「三毛<sup>さんけ</sup>別<sup>べつ</sup>巖<sup>ひぐま</sup>事件」をもとに、開拓の悲話を後生に

伝えようと、全て史実に基づき町民の創意工夫から生まれた獅子舞である。昭和 46 年（1971 年）に古丹別神社<sup>こたんべつ</sup>氏子関係者と町内会関係者が古丹別神社祭で獅子舞を舞ったことをきっかけとして、昭和 48 年（1973 年）に保存会を設立した。

現在は、太鼓 2 台、篠笛 2 本、踊り（開拓民）数名、くま獅子 2 名の構成で、舞は入植するところから始まり、開墾、収穫、熊騒動へと続く。熊が退治された後は、希望を回復し立ち直る開拓民、最後は退治された熊も起き上がり開拓民と共に踊る。人間と動物が共存できることを目指して、幕は閉じる。

例年、10 月下旬に苫前町公民館で行われる町民舞台発表会で披露している。